

平成22年（2010年）第1回市議会定例会本会議（3月26日）

横須賀市基本計画の策定に関する特別委員長中間報告

ただいま議題となりました、横須賀市基本計画策定に関する特別委員会における審査の経過と結果の中間報告を申し上げます。

本委員会は平成21年9月17日の本会議において設置されて以来、延べ4回会議を開き審査を進めてまいりました。

まず、今までの審査における主な質疑について申し上げますと、市民意見の集約方法、市民会議のあり方、総合計画における基本計画の位置付け、基本構想の修正の可否、総合計画審議会と当委員会との関係、計画案における横須賀市の独自性、課題解決のための各種団体との協議状況、市長マニフェストと計画案の整合性、既存事業のスクラップの可否、雇用政策を重点とすることの必要性、誘致された企業の地域雇用率、既存産業への手当の必要性、基本計画内への具体的事業内容の記載方法、総合計画審議会分科会と政策目標との関係、人口推計の方法、計画上の目標人口設定の是非、本市が直面している危機的状況の表現方法についてであります。

また、市長が市長施政方針及び予算の概要において、本委員会で審査中であるにもかかわらず、基本計画素案の重点プログラム事業

に重点的に予算を配分したことについて、議会軽視である旨の意見もありました。

これらの質疑及び意見をもとに、3月24日の委員会において、調整を行った結果、本委員会として提言を行うことと決定しましたので、以下、本委員会の提言を申し上げます。

横須賀市基本計画の策定に当たり、市におかれては、本委員会の次の意見を反映されるよう強く要望する。

- 1 前計画の総括を踏まえ、現在の本市の課題をしっかりと把握した上で、今後本市の進むべき方向を示すものとされたい。
- 2 基本構想との整合性、関連性を図り、計画の進行管理をするために、より踏み込んだ方向性を示せるよう、指標及び評価体制を確立されたい。
- 3 本計画と各分野別計画、関係条例等を整理し、わかりやすい構成と文言で表記することにより、市民に理解と共感を得られるよう配慮されたい。
- 4 社会情勢の大きな変化が生じた場合、計画を見直すことができるような表現を加えることを検討されたい。

以上で中間報告を終わります。